

1. 依頼者について ファミリーステージとライフスタイル

Nさん 35歳の専業主婦 アドバイザーとは初対面（アドバイザーの友人の妹）

- ・最近、戸建てを新築した
- ・夫と2人暮らしの家族成立期で、数年以内に子どもがほしいと考えている

Nさんは会社経営者の妻

- ・家事はNさんが担当
- ・夫の会社への贈答品（主に食品）がたくさん家に持ち込まれる
- ・夫の実家が近くにあり、実家からのいただき物も多い
- ・料理が好きで、義理の母と一緒に料理教室に通っている



2. 依頼者の困りごとと理想、今回の目標

◆キッチンの困りごと

1. 定位置がない・・・何をどこに置くといいか深く考えたことがなく、ついあちこちにいろんなモノを置いてしまう。
2. 床やコンロ周辺にモノが溢れている・・・掃除しにくい。収納スペースが足りないと思っている。
3. 散らかっていて恥ずかしい・・・新築なのにお客さんを呼べない。

◆理想のキッチン

1. いつ子どもが生まれても困らない、清潔で安全な状態
2. 来客にすぐ対応できる片付いたキッチン

◆今回の目標

1. キッチン収納を見られても恥ずかしくない状態にする
2. 食品の賞味期限切れを防げる仕組みをつくる
⇒とにかくモノが多くて悩んでいる食品・飲料の収納を使いやすくしたい！

研究発表テーマ「大量の食品に囲まれる社長夫人 賞味期限切れゼロの食品収納へ」

3. 食品・飲料を全部出す → 所有の意味を考える



キッチンの他、家のあちこちにある食品を全て出し、なぜこれだけの食品があるのかを考えた。

Nさん「料理教室で習った料理を再現するために調味料をたくさん買ってしまっけど、買ったことを忘れてるものも多い」

研究発表テーマ「大量の食品に囲まれる社長夫人 賞味期限切れゼロの食品収納へ」

4. 4つの領域に分ける～モノの本質を知る～



↑ 段ボール2箱分のスクラップ

Nさんに「整理とは、必要なものと不必要なものを分け、不必要なものを取り除くこと」と伝え、一緒に4つの領域に分けた。

Nさんの気付き

- ・不可欠な食品としてアクティブ領域にあるものの種類は限られている
- ・よく使う食品の買い置きはスタンバイ領域で、これも少ししかない
- ・いただき物、料理教室の味を再現するために買ったものはプロパティになっている
- ・同じ物を重複買いして片方が賞味期限切れになったもの等、スクラップが段ボール2箱分出た
- ・中段の一番使いやすい高さについ置いていたものにもスクラップが複数あってびっくりした

研究発表テーマ「大量の食品に囲まれる社長夫人 賞味期限切れゼロの食品収納へ」

5. 整理のねらいを明確にし、ねらいからグループ分け

◆今回の目標

1. キッチン収納を見られても恥ずかしくない状態にする
2. 食品の賞味期限切れを防げる仕組みをつくる

⇒とにかくモノが多くて悩んでいる乾物・飲料の収納を使いやすくしたい！

大量にあるプロパティ領域の食品も、
できるだけ捨てずに使いたい。
プロパティだったものをスタンバイ
かアクティブにしたい（Nさん）



- ・ Nさんが使いやすいと感じるように分類する。
- ・ プロパティ領域の食品のうち、今後使いたいものはアクティブ領域・スタンバイ領域のものと一緒に一旦分ける。



